

# あかやま



第 **315** 号  
学校日より376号

## 投稿紹介

前回「QRコードによるアンケート」を実施したところ、たくさんの投稿が寄せられました。ご協力ありがとうございました。その中から今回は受験に関する投稿をいくつか紹介いたします。

### 投稿①

志望校…高校に促され早くから志望校を決める子ども多い。志望校と学力との乖離度は共通テストまでは学校から何も言われない。が、共通テスト後は一転してAかB判定の安全校を提示され受験するよう高校から言われる。本命を貫くか変更するかは本人と保護者次第。受験総費用…併願数、受験校の場所(地元、県外、首都圏)で全く違う。参考になるとすれば、入学金や学費以外の支出の合計が、受験時引越時宿泊交通費、パソコン&プリンター等学習機器費、下宿契約&家電新生活費で約100万ほどだった。

受験を通じて思ったこと…なにより伝えたいのは、2年文理選択時に、志望校というよりも志望分野や受験科目まできちんと調べて学部を絞り込んでいるのがベスト。通っているなら塾に相談するのも良い。また、オープンキャンパスはあまり大学を絞り込まずに高1で色々な環境(地方、都会、首都圏)のところへ行くと思う。場所によってキャンパスライフが全く違って来る。それも4年間生活する上で大きな影響。

### 質問内容

Q お子さんの大学受験を経験された方にお聞きします。受験について教えてください。

例：志望校を決めたのはいつ？ 受験にかかった総費用は？ 準備してよかった事など

### 投稿②

令和2年に受験しました。高2の夏にオープンキャンパスに行き志望校にしたいと決めました。私立は受けず、前期で合格できたので費用は20万くらいだと思います。東京の大学なのですが、前期試験の日程の大学のすぐ近くのホテルは早いうちから予約されてました。夏では遅かったです。ホテルのおさえだけでも早めにとと思います。

### 投稿③

● コロナ禍なのでオープンキャンパス以外の日でもいいので、一度大学を見に行くことをお勧めします。モチベーションが上がって勉強に意欲的になります。

● 受験大学の近くのホテルを早めに予約しておいた方が安心。受験校変更時はキャンセルできるし、逆にキャンセルも出やすいので早めにチェックする。

具体的な投稿ありがとうございました。予想していなかった出費もかなりあり、知らなかった事も多く驚きました。北校保護者様からの生の声はとても参考になりました。進路説明会に参加したり進路情報誌を読んでも、どこかピンとこなかった受験がとても身近に感じられるようになりました。

## サイエンスカフェ in 松江 【理数科2年中間発表会】

2021年12月11日(土)にNPO法人サイエンス・ステーションと松江北高校の主催で、サイエンスカフェ in 松江を松江市市民活動センター(松江スティックビル)にて開催しました。自然科学を研究する大学生、大学院生の講演を聴いたり、理数科2年生が課題研究中間発表をしたりしました。

島根大学生物資源科学部の山本達之教授をはじめ、例年より多くの保護者の方や一般の方にも参観していただきました。山本教授からは、「大学2年生でやるような内容をよく頑張って研究している」「誤差をなくするために、水を加熱して気体にする事で溶けているCO<sub>2</sub>が出てくるのではないか」「実験時の水温は一定にしたか」とご助言やご質問をいただきました。また、大学生、大学院生からも「1つ1つの言葉の説明もあり、わかりやすかった」「なぜ、その材料にしようと思ったのか」などと質問や意見をいただき、活発な質疑応答の時間となりました。2月の最終発表会に向けて、研究意欲を高めることができた充実した時間になりました。

サイエンス・ステーションの皆様、ご参観いただきました皆さま、どうもありがとうございました。

- 講演①「岩石・鉱物から見える世界」  
妹尾梨子 東京大学 理学部地球惑星物理学科
- 講演②「X線天文学のすゝめ」  
米村優輝 中央大学 理工学部物理学科
- 理数科2年発表  
物理1班「ボールを水に落とした音の出方」  
化学1班「二酸化炭素の発生量の計測 ～入浴剤の研究～」  
化学2班「時計反応」  
生物1班「プラナリアの好物とその食いつき」  
数学 班「直方体のサイコロと確率」  
物理2班「筒の中の煙が上昇する高さは何によって決まるか」  
化学3班「電流による中和点の測定」  
生物2班「根粒菌と植物の共生 ～僕らの根粒菌戦争～」



## 学習成果発表会 【1, 2年生 総合的な探究の時間】

2021年12月14日(火)に1, 2年生合同の「学習成果発表会」をくにびきメッセで実施しました。

2年生はそれぞれチームで協働して取り組んできた「課題研究」を発表しました。

普通科2年生は、「自分の未来・社会の未来をよりよくするプロジェクト」として、フィールドワークを含め、活動してきたことをポスターセッションという形で発表しました。

理数科2年生は、理科や数学の分野のテーマで研究していることをパワーポイントを用いて中間発表しました。

また、7月に行った普通科2年生津和野研修報告では、参加した2年生から研修内容の報告だけでなく、「津高生と関わる楽しい研修」「新しいことにチャレンジしたい人にはぜひ参加してほしい」といった1年生に向けたメッセージを伝えてもらいました。

1年生は、聴衆として合計12個の2年生の発表を聞き、自分たちが来年度に取り組む課題研究に対して具体的な見通しを持つことができました。

午後は、昨年度に引き続き、島根大学中村怜詞先生から「課題研究のススメ」というタイトルで、2年生の課題研究の講評および、課題研究の意義についてお話いただきました。

講評では、中村先生の質問に答え続けた生徒がいたことや、小さくても実践できている班が昨年より多くなったなど講評をいただきました。また、身近なことでも自分にとって重要だと思うことを探究することが大切なことや、できないことをできるようになるように工夫したり本気で取り組んだりするなどの「努力したプロセス」が大事であるというお話をいただきました。



## エンパワーメントプログラム

12月22日(火)~26日(日)の5日間でエンパワーメントプログラムを実施しました。今年は39名(1年生23名、2年生16名)が参加しました。本校での開催は3年ぶりとなりました。本プログラムは、本校を会場に、国際理解教育プログラムの一環として、グループリーダー役の大学生7名、進行役1名、計8名の日本の大学に通う外国人留学生を招いて行う、5日間英語漬けの研修です。このプログラムを通して、生徒は多くのことを身につけることができます。英語コミュニケーション力のみならず、物事を深く多角的に考える思考力、ディスカッション・プレゼンテーション力、そして、自らを肯定的にとらえる思考を学べることにより主体的に物事に取り組む力、等々です。また、実施にあたっては、双松会の「世界のたれ北高生」基金より参加費の助成をいただきました。

この5日間を通じて、生徒の変容ぶりには目を見張るものがありました。ここで得たものを高校生活だけでなくその先に活かしてほしいと思います。詳しい活動内容については、松江北高校フェイスブックをご覧ください。また、この度、双松会ホームページを通じて、エンパワーメントプログラム最終発表会をZOOMによるリアルタイム配信を行いました。日頃支援をいただいている双松会の方々に実際に生徒が活動している姿をご覧いただくこととなり、双松会と本校との新たなつながりを作る機会となりました。会員の皆様ありがとうございました。



# 担任から卒業生へ贈る言葉

## 『挑戦するから成長できる』

1R担任 樋野 大輔

卒業おめでとうございます。この1年間に夏（東京）と冬（北京）の2つのオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。出場した選手のコメントの中には「挑戦」という言葉がよく出てきましたので少し挙げてみます。（私がメモをしていたものですので、若干不正確な点があるかもしれません）

「今大会は（異例の）2競技出場だったので、新しいことへの挑戦でまったく分からない中での調整だったが、結果的に自分の可能性を広げた挑戦となった」【土田和歌子（パラ・車いすマラソン、トライアスロン）】  
 「オリンピックとパラリンピックの両方に出場することは簡単ではないが、不可能でもない。私がある事例。これからもこの挑戦を続けていきたい。扉はいつも開かれている」【ナタリア・パルティカ（パラ・卓球）】  
 「1500mが終わった後、バシュート（団体追い抜き）を考えると、500mに出るかどうか本気で考えたが、最後まで挑戦して本当に良かったと思う。」【高木美帆（オリ・スピードスケート）】



この1年間は「挑戦」という言葉をよく聞いた気がします。つい最近も「私立大学の3月受験に挑戦したい。チャンスが僅かでもある限りやり切りたい」と言った生徒がいました。そう言えば、3学期始業式の校長先生のお話や3年生を送る会のムービーにも「挑戦」が登場しました。以前読んだ本に「挑戦の後には成功か成長しかない」とありました。つまり、「挑戦」にはプラスしかないのです。皆さんがこれからたくさんのことに挑戦して、どんどん成長していくことを期待しています。

## “Talk with your partners!”

2R担任 三原 貫

私の好きな言葉で、授業では必ず使う言葉です。これは「席が隣の人と相談しましょう」ということだけを意味しているわけではありません。「自分の思いを言葉で伝える」「他者の言葉に耳を傾ける」「自分と他者の言葉を尊重する」そんな思いで私はこの言葉を使っています。クラス・学校・日本・世界には自分とは異なる人ばかりで、意見が食い違い、対立し、そのせいで気持ちが晴れなかったこともあると思います。これから先、人間という生き物が存在し続ける限りは、これが変わることはないでしょう。そんな中、人間であるからこそできることがあります。「言葉」を学び、「話し合う」のです。自分とは相容れない他人を排除するのではなく、言葉にして自分の思いを伝え、他者の言葉に耳を傾け、その言葉を尊重し、これからの人生を「周囲の人たち」とともに幸せなものにしてください。英語の授業ではこんなことを思いながらやっていました。この3年間、皆さんの様々な言葉を聴いてきました。言葉と周囲の人たちを大切にしてください。また会える日まで。卒業おめでとう。

## 『地の塩、世の光』

3R担任 田中 求

卒業おめでとうございます。  
 真っ直ぐなみなさんの目、他者を慮った言動に心洗われるばかりの3年間でした。  
 幸いなことに、みなさんと一緒に過ごすことができたが故に、学校に行くことが嫌だった日は数えるほどしかありませんでした。  
 この時期になるといつも思い出すのは、イエスの「山上の垂訓」の一節です。  
 「あなたがたは、地の塩である。もし塩のきき目がなくなったら、何によってその味が取りもどされようか。…あなたがたは、世の光である。山の上にある町は隠れることができない。…また、あかりをつけて、それを柵の下におく者はいない。むしろ燭台の上において、家の中のすべてのものを照らせるのである。」  
 あなた方は我々すべての希望の光です。どうか地の塩、世の光として、より良い世の中を実現する一人一人でありますよう。それが果たされるのであれば、今日の日のもたらぬ寂寥感など、なんでもないことだと思うのです。できるだけ長く元気でいましょう。ぜひ、又どこかで会いましょう。



## 『学ぶとは、心に誠実を刻むこと』

4R担任 古藤あゆみ

ご卒業おめでとうございます。皆さんはとてもさわやかで気持ちの良い人たちでした。常に周りを気遣い、相手を思いやることばが自然に出てくる人たちでした。毎日クラスに行くのが楽しみでしたし、面談で考えや思いを共有できたときは嬉しかったです。これから社会に出て、その謙虚さと寛容さを大切に、多くの人と関わり様々な経験をして自己の世界を広げていってほしいと願います。

この原稿を書く直前に4Rのある人が数学の質問に来てくれました。2次試験の直前ですが、試験のためだけではなく、もっと先を見据えて学びたい内容があると話してくれました。出会った頃に比べ、考え方も行動も変わった姿に感動しています。教科書に沿って進めていく勉強はここで終わります。これからは自分で学びを選択し、それらが自分の人生に対してどんな意味を持つのか明らかにしていく必要があります。真剣に知識や経験と向き合わなければ、うまく学ぶことができません。学びに誠実に向き合っ身につけた知性は理性とともに識見の基礎となり、あなたの中の思いやりの心をさらに豊かにしてくれるはずです。素敵な大人になってください。

## 『送り続けたメッセージ』

5R担任 矢野 真以

私には1年間やり続けたことがあります。それは、朝7時に学校に来て教室の電気とエアコンをつけること。教室の掃除をし、皆が気持ちよく学習をはじめられるように環境を整えること。また、自主学习に使えるように、裏紙を再利用したメモ用紙を準備すること。そのメモ用紙に、私のメッセージを入れること。受験に関すること、人生に関すること、諸々です。メモ用紙を手にとった時、その人を叱咤激励するたくさんのメッセージを送ってきました。

「自分が出した答えを正解にしていこう」  
 これはそのメッセージの1つです。人生は選択の連続です。大学受験も就職も人生の大きな選択といえるでしょう。悩んで出した答えが正解かどうかは誰にも分かりません。ただ、その時々で自分が出した答えを正解にできるように、前向きに進んでいってほしいという願いを込めて送ったメッセージです。途中で方向性が変わることもあるでしょう。それは、選んだ道で様々な経験をし、知見が広がったからこそ出てくる答えだと思います。人生は長いですから、多少遠回りしても大丈夫です。自分が出した答えを自分の正解にできるように、これからの人生をしっかりと歩んでいってください。

卒業おめでとう。

## 『○○○を○○○○！』

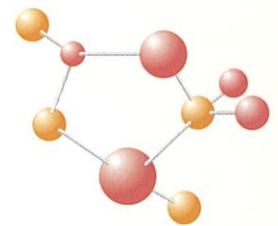
6R担任 川上 真

3年 化学・化学基礎 学年末テスト

必要であれば次の原子番号を用いること  $1\text{H}$   $2\text{He}$   $3\text{Li}$   $8\text{O}$   $9\text{F}$   $10\text{Ne}$   $11\text{Na}$   $17\text{Cl}$   $19\text{K}$   $20\text{Ca}$   $47\text{Ag}$

問1 以下の各問いに適する原子を一つ選びなさい。

- ① 単原子分子……………水 塩素 酸素 ヘリウム リチウム
- ② 炎色反応で橙赤色を示す金属……………ナトリウム カリウム カルシウム
- ③ 同素体をもつ原子……………水素 酸素 塩素 フッ素
- ④ 価電子数が0の原子……………水素 酸素 塩素 ネオン



問2 問1の答えを用いて、下線部の数字をひらがなに変換し、タイトルを完成させなさい。

『①+② を  ${}_5\text{B} \times \text{③} \times \text{④} + \text{銀} - \text{不安!}$ 』

卒業おめでとうございます。受験だけでなくコロナ禍の影響で、より不安や苦勞を感じたかと思います。卒業後、新しい自分をたくさん見つけてください。そのために「出会いと挑戦」を大切にしてください。出会い=視野だと思えます。視野が広がることで新たな挑戦が見えてくると思えます。挑戦=経験、失敗や成功をたくさん経験して下さい。この経験が皆さんの武器になることを楽しみにしています。

川上 真

## 卒業生の皆さんへ

3年学年主任

7R担任 遠藤 雅己

この3年間、あなた方は何物にも替えることの出来ない多くの経験をしてきました。その道のりは、決して楽なものではなかったと思います。しかしその側には、同じ目的を持って切磋琢磨した仲間や、いつも暖かく支えてくれた先生方、家族の存在があったと思います。特に自分をしっかりと見つめ直し、努力を続けた最後の1年間、あなた方が感じたであろう多くの人達への感謝の気持ちや、乗り越えてきたたくさんの壁は、きっとこの先、なにか辛いこと、悲しいことがあったときにあなた方を支える大きな力となるでしょう。この3年間の生活を誇りに思い、胸を張って自分の選んだ道をこれからも進んで下さい。私たちはいつでもあなた方を応援しています。

「成功することは素晴らしい。成功しなくても、成長することは、もっと素晴らしい。」

これからも我武者羅に進め!!